

チャペル週報

No.24

2013 .11.25 ~11.29

わたしたちがイエスから既に聞いていて、
あなたがたに伝える知らせとは、
神は光であり、神には闇が全くないということです。

(ヨハネの手紙一 1：5)



西宮上ヶ原キャンパス ランパス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月25日(月) 神 柳 本 和 良 (神学研究科M1)

経 献血実行委員会

人 音楽チャペル パロックアンサンブル

聖和 聖書の物語「ひとりぼっちの人」

11月26日(火) 院 柳 本 和 良 (神学研究科M1)

神 Daniel Harald Dellming (高等部教諭・宣教師)

文 Ruth M. Grubel (院長)

社 動詞シリーズ「開く」⑥ 村 田 泰 子 (社会学部准教授)

経 人間を考える⑤ 神 崎 高 明 (経済学部教授)

商 献血実行委員会

国 クリスマスにそなえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)

聖和 チャペルコンサート 独唱 鍋 島 穂 波

総 音楽チャペル パロックアンサンブル

11月27日(水) 神 聖歌隊による音楽礼拝

社 動詞シリーズ「開く」⑦ 白波瀬 達 也 (社会学部教務補佐)

法 English Chapel Christian Morimoto Hermasen (宣教師)

経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)

商 浜 田 和 樹 (商学部教授)

国 学生活動報告 宗教総部

聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)

理 総合政策学部 に 合 流

総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

11月28日(木) 神 土 門 稔 (神学研究科M1)

文 Andreas Rusterholz (宗教主事)

社 動詞シリーズ「開く」⑧ 岡 田 弥 生 (社会学部教授)

経 人間を考える⑥ 藤 田 友 尚 (経済学部教授)

商 宗教総部学生チャペル

国 English Chapel Jesse E. Olsen (国際学部准教授)

聖和 「クリスマスを待ち望む」東 よしみ (神学部助教)

総 オムリ・プージッド (本学非常勤講師)

11月29日(金) 神 岩 野 祐 介 (神学部准教授)

文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)

経 舟 木 讓 (宗教主事)

人 クランツ作り

聖和 「はるかなる聖和～幼稚園時代の思い出～」宇都宮 正 人 (聖和短期大学教授)

理 前 川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

11月29日(金) アドベント(12/1)を迎えるにあたって Andreas Rusterholz (文学部宗教主事)

深まりゆく秋のなかで

安 田 美 予 子

暑く長かった夏もいつのまにか終わり、季節はすっかり秋の深まりを見せている。研究室の窓からは、なんの木であろうか、燃えるような赤に染まった木々が、仁川の川縁からは赤に黄に彩られた森や林が、目に飛び込んでくる。この夏の暑さにあえていた我が家のバラも、ある樹は小さな花々の開花を終え、別の樹はピンクの開花を迎えつつある。近年の異常気象は、ひとや動物だけでなく、木々や草花を含めた生きもの全般にとって厳しいものに違いない。そう思うと木々や草花が、暑さにやられ水涸れし、厳しい暴風雨に晒され葉や枝が傷み、加えて病気にかかり虫に襲われても、文句も言わず、じっとその場において、この季節を迎えたことに驚嘆する。木や草花はどのような環境のなかでも、おのが本分に従って、淡々と己の役割を果たしている。

翻って我が身を考えるとどうであろうか。暑い、寒い、時間がない、しんどい、たいへんだ、などこぼしている。締め切り間近を控えパソコン操作に没頭をしているときに、かまってくれとにゃあにゃあと鳴いて寄ってくる我が家の猫たちに、あっちに行けときつく言う。誰がこの家事をするのかをめぐって、家人と言い争いをする。仕事や家庭・家族のなかでの役割を果たさなければならないという名目で、自分の都合や時間を気にして段取りや予定を考え、効率的・能率的に行うことを優先する。ほかのひとの事情やペースや他の生きものの営みに合わせることを忘れ、自分本位でものごとを進めてしまう。これでは、たとえ礼拝に参列し朝に夕に神に祈っていても、いつの間にか主である神と切れてしまっている。そんな自分をときに見出し唾然とする。

一年の終わりもそろそろ見えはじめた。来月はいよいよクリスマスが、そして新年が訪れ、仕事や家庭の諸事が慌ただしく進んでいく季節である。そんな今だからこそ、ほかのひとや生きものとの営みのなかにある自分、共にある自分をかみしめ、日々を送りたい。そして主イエスが共にいてくださる平和や主の恵みを味わいながら、喜びと感謝をもってクリスマスを迎えたい。

(人間福祉学部教授)

●2013年度人権教育研究室主催・第3回公開研究会

映画監督の土屋トカチ氏、NOP 法人 POSSE 京都支部の岩橋誠氏、フリージャーナリストの常見陽平氏を招いて、「ブラック企業にご用心！」(土屋トカチ監督)を上映した後、トークセッションとフロアーとの質疑応答の場を設ける。「ブラック企業」の脅威にどのように立ち向かうべきか、みんなで考えよう！

と き：11月29日(金) 15:10～18:20(途中15分間休憩)

ところ：関西学院大学図書館ホール

テーマ：「ブラック企業」って、なんだ？ — 働くわたしたちの「人権」を守ろう！—

映画上映：「ブラック企業にご用心！」(土屋トカチ監督)

トークセッション：

トーカー 土屋トカチ (映画監督)
岩橋 誠 (NPO 法人 POSSE 京都支部)
常見 陽平 (フリージャーナリスト)

ナビゲータ 阿部 潔 (人権教育研究室)

なお、11月25日(月)～29日(金)の期間、図書館エントランスホールにて関連展示を実施。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月29日(金) 18:00～18:20 1405 教室

●2013年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む(2010年度～2014年度)

1. と き：12月4日(水) 11:10～12:40

ところ：西宮聖和キャンパス 6号館 613号教室

※手話通訳、ビデオ撮影を予定

2. と き：12月4日(水) 15:10～16:40

ところ：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「光の間」

※手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

講 師：清水 建夫(しみず たてお)氏

(弁護士、日本弁護士連合会障害者差別禁止法特別部会(労働担当)、
働く障がい者のための弁護団代表)

題 目：「障害者権利条約と改正障害者雇用促進法・障害者差別解消法
－共生社会の実現をめざして－」

●第195回ランパス演奏会のご案内

「17世紀イギリスのリユートソング」

平井満美子(ソプラノ)、佐野健二(ルネサンスリユート、アーチリユート)

と き：12月5日(木) 17:00 開演

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

演 目：流れよ我が涙/ダウランド、つかの間の音楽/パーセル ほか

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリユート歌曲のスペシャリストです。是非ともこの機会に足をお運びください。<入場無料>

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時：12月20日(金) 17:30 開場 18:30 開始

参加費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協/チケットぴあ/ABCチケットセンター
/サークルK・サンクス/セブン-イレブン

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。